

飛谷亜紀子

瀬音<sup>せおと</sup>

こえ……きみのこえが 流れてくる  
谷間を 細くしずかにすべる 白銀の清流  
風に舞う薄桜 波のように 微笑むように  
ああ、光のなかを とおくから翔けてくる きみ  
とおくへ とおくへと 翔けてゆくきみ

なみだ

嵐のあとの 夕風の海  
眠りのような 祈りのような  
そこにただたたずむ  
きみの 濃藍のなみだ